

平成27年6月期決算説明会

株式会社 オーネックス

平成27年8月26日

Index

■ H27年6月期業績

■ H28年6月期予想

■ 今後の展望

- ・熱処理事業を取り巻く環境
- ・オーネックスグループの経営戦略
- ・オーネックスの設備増設
- ・Nadcap認証取得状況

■ 風力発電

■ 新会社事業展開

- ・熱処理工業会現況
- ・設立目的、概要
- ・工場建設場所
- ・交通アクセス
- ・工場配置図
- ・工事の状況
- ・完成予想図
- ・営業エリア

平成27年6月期の業績

平成27年6月期連結業績前期対比

(単位:百万円)

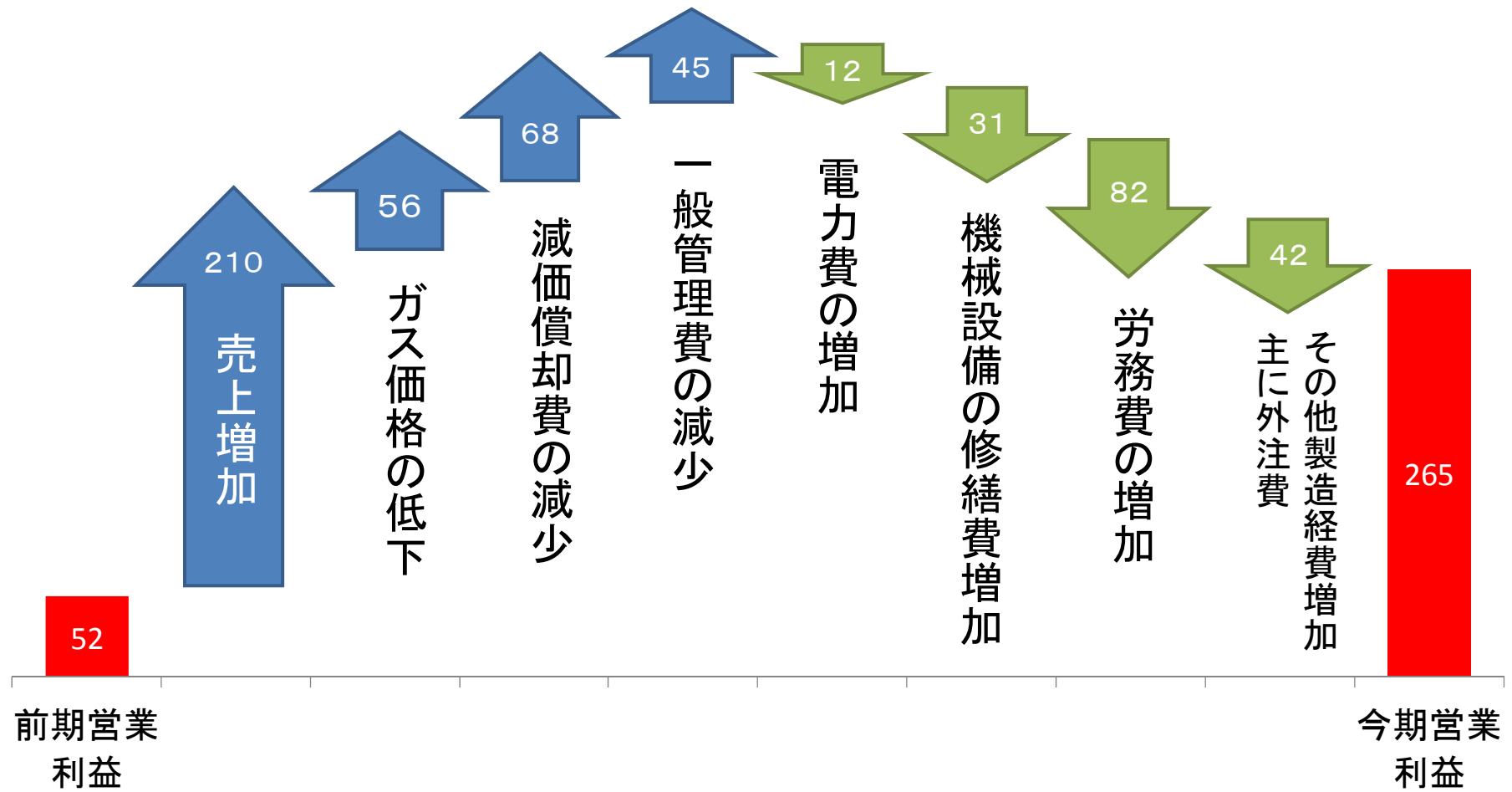
	26/6期	27/6期	増減	増減率
売上高	4,968	5,212	243	4.9%
売上総利益	1,189	1,373	183	15.4%
営業利益	94	313	218	230.2%
営業利益率	1.9%	6.0%	4.1%	—
経常利益	105	324	218	207.1%
当期純利益	65	191	125	190.6%

- 売上高は増加 前期比243百万円
- 営業利益は増益 前期比 218百万円

営業利益要因分析(対前期比増減)

(株)オーネックス単体

(百万円)



平成27年6月期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	26年 6月末	27年 6月末	増減		26年 6月末	27年 6月末	増減
流動資産	3,928	4,000	71	負債	2,724	3,159	434
固定資産	3,907	4,476	568	純資産	5,111	5,319	208
資産合計	7,836	8,479	642	負債・純資産合計	7,836	8,479	642

(資産)

現金及び預金 46百万円増加
 売掛債権 20百万円増加
 土地 437百万円増加

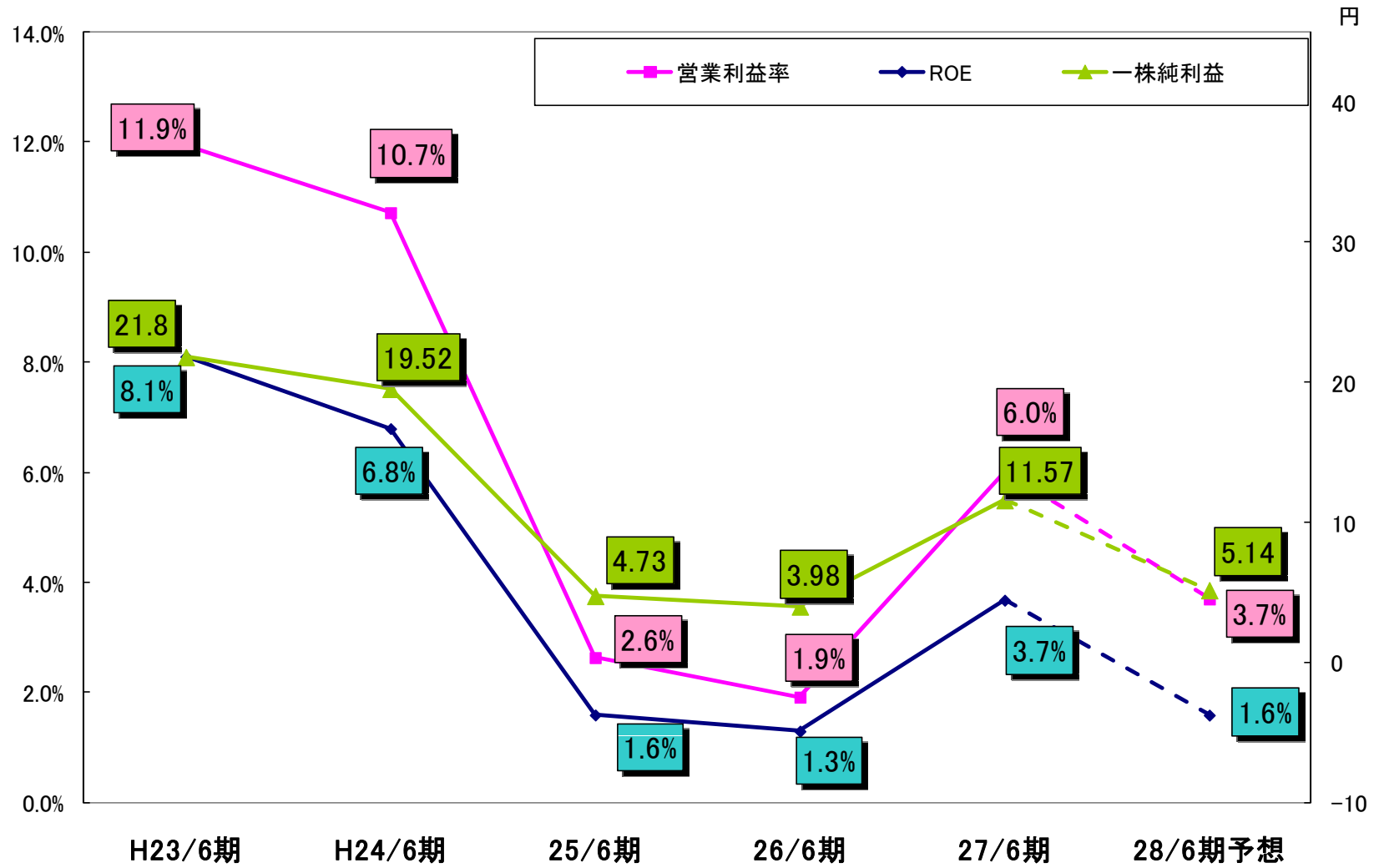
(自己資本比率)

62.7%(前期 65.2%)

(負債)

借入金・社債 339百万円増加
 退職給付負債 20百万円増加
 流動その他 76百万円増加

目標とする経営指標(連結)



平成27年6月期セグメント別業績

(単位:百万円)

	売上高		営業利益	
	27/6期	前期比	27/6期	前期比
金属熱処理加工	4,628	4.8%	252	388.8%
運送	583	6.0%	31	12.6%

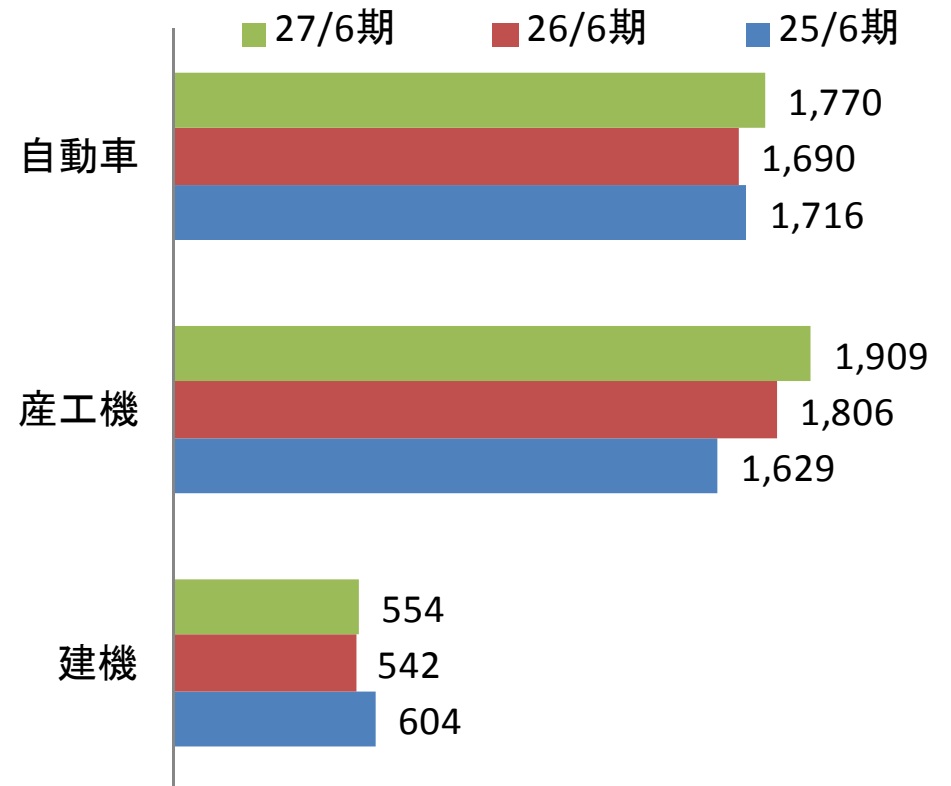
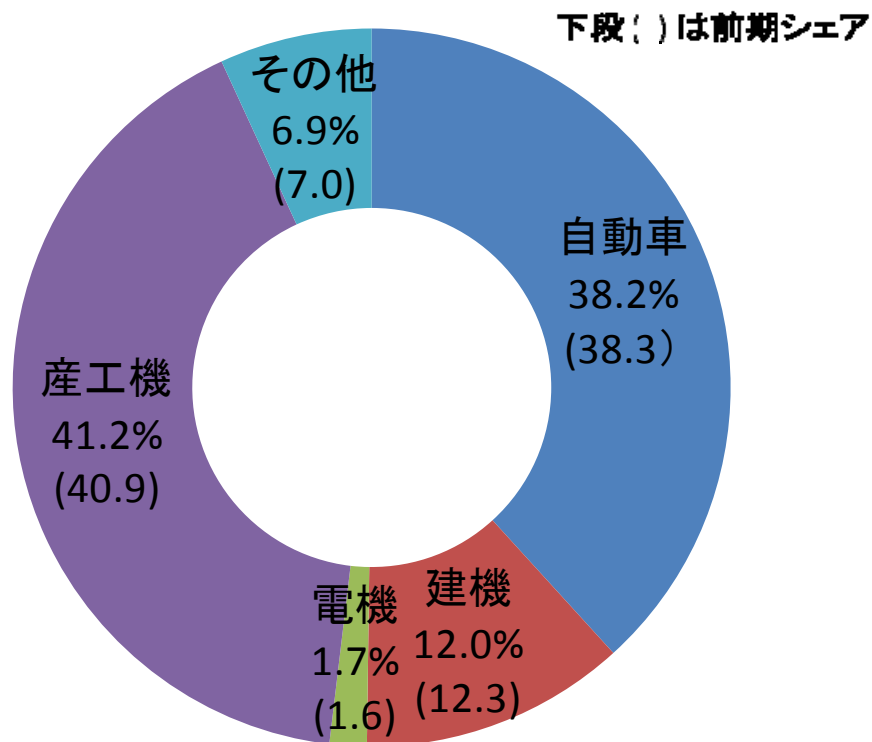
金属熱処理加工 : (株)オーネックス

: (株)オーネックステックセンター

運送 : (株)オーネックスライン

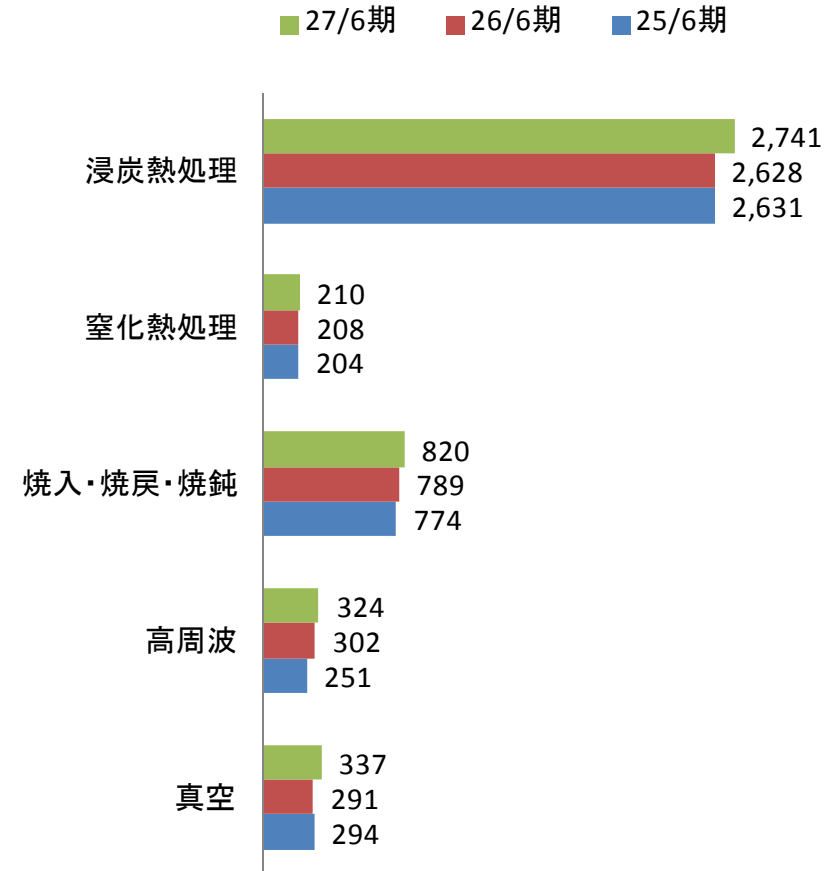
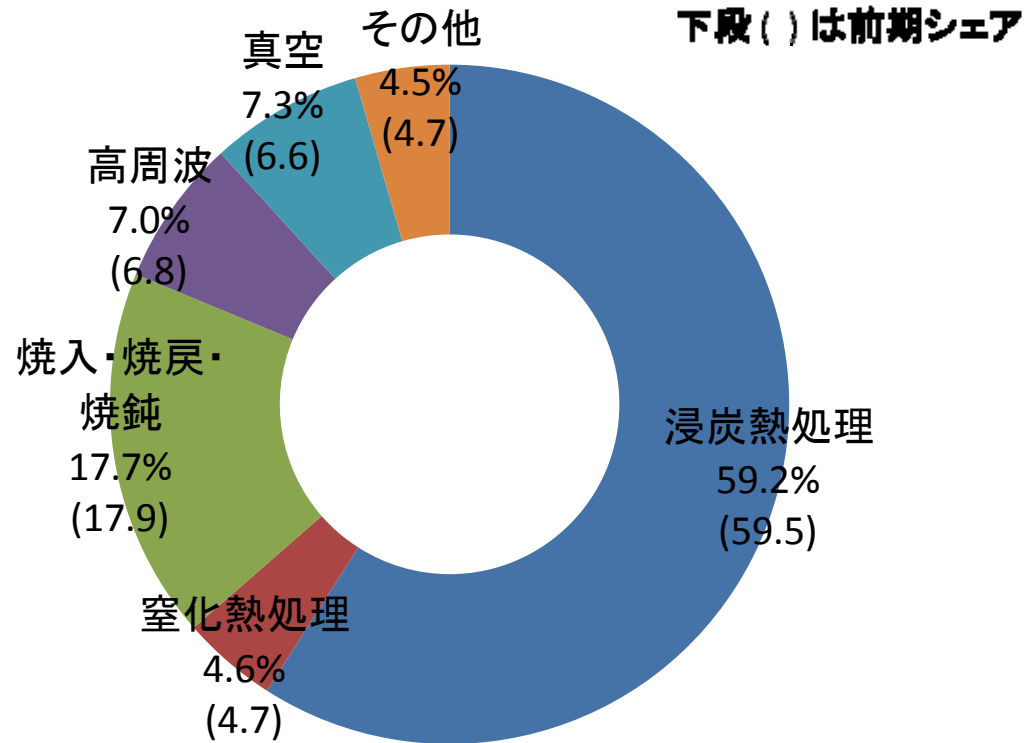
平成27年6月期業種別シェア

単位：百万円



平成27年6月期加工種別シェア

単位：百万円



平成28年6月期の業績予想

業績予想

【連結】

(単位:百万円、%)

	27/6期	28/6期 業績予想	増減	増減率
売上高	5,212	5,438	225	4.3%
営業利益	313	201	△112	△ 35.9%
経常利益	324	208	△116	△ 35.8%
当期純利益	191	85	△106	△ 55.6%

【個別】

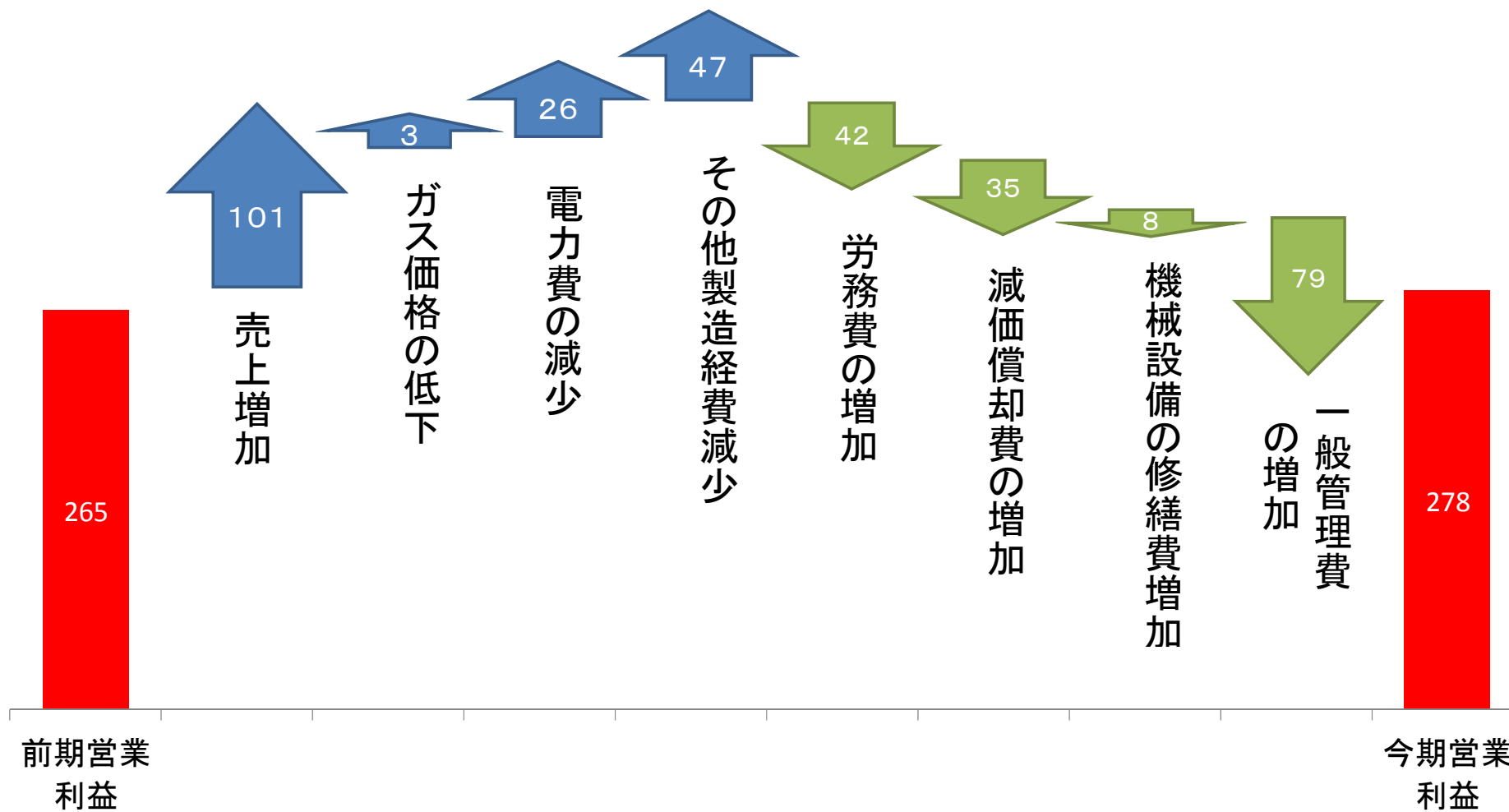
(単位:百万円、%)

	27/6期	28/6期 業績予想	増減	増減率
売上高	4,628	4,729	100	2.2%
経常利益	292	295	2	0.7%
当期純利益	174	177	2	1.4%

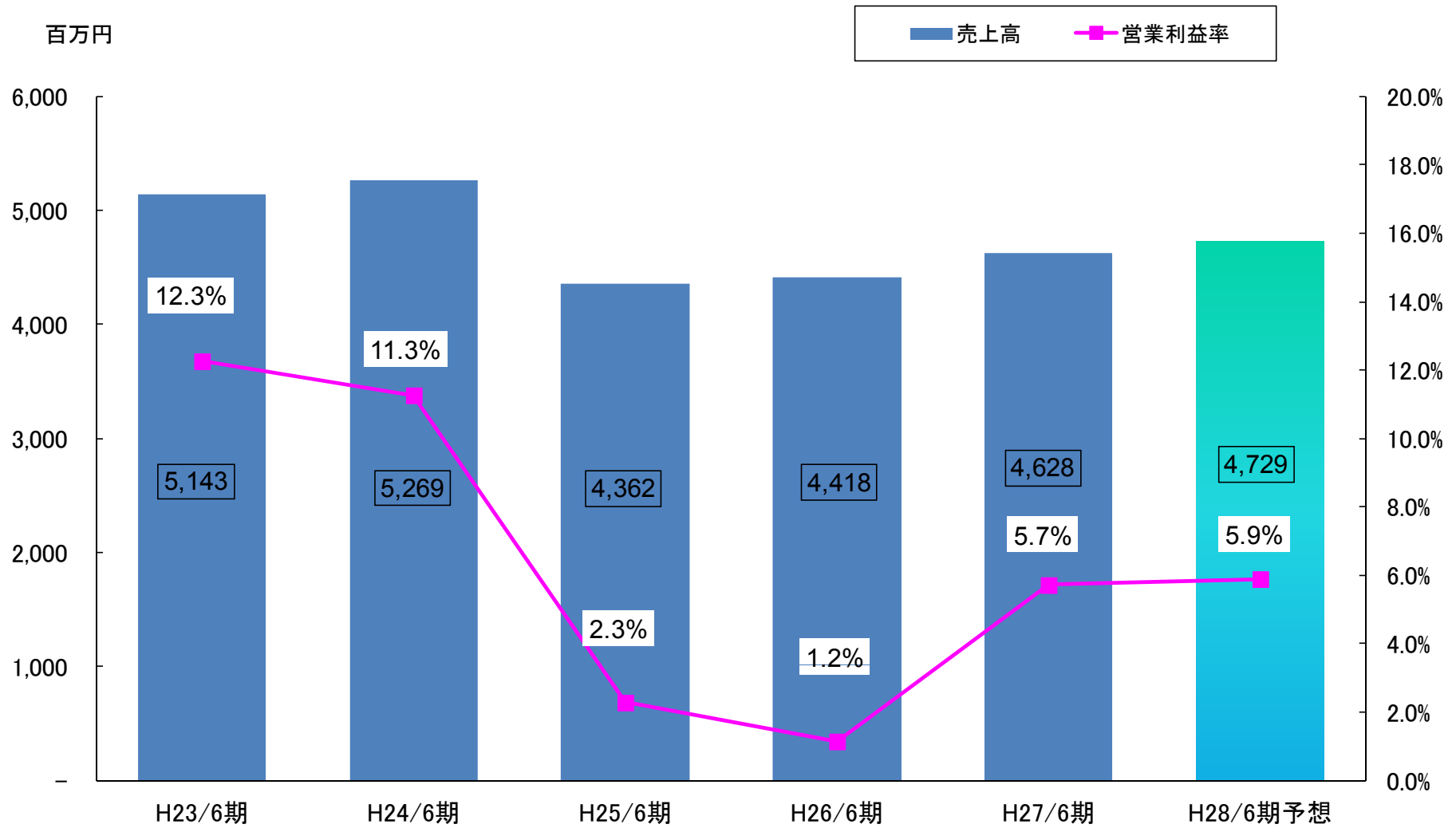
営業利益要因分析(対前年度比増減)

(株)オーネックス単体

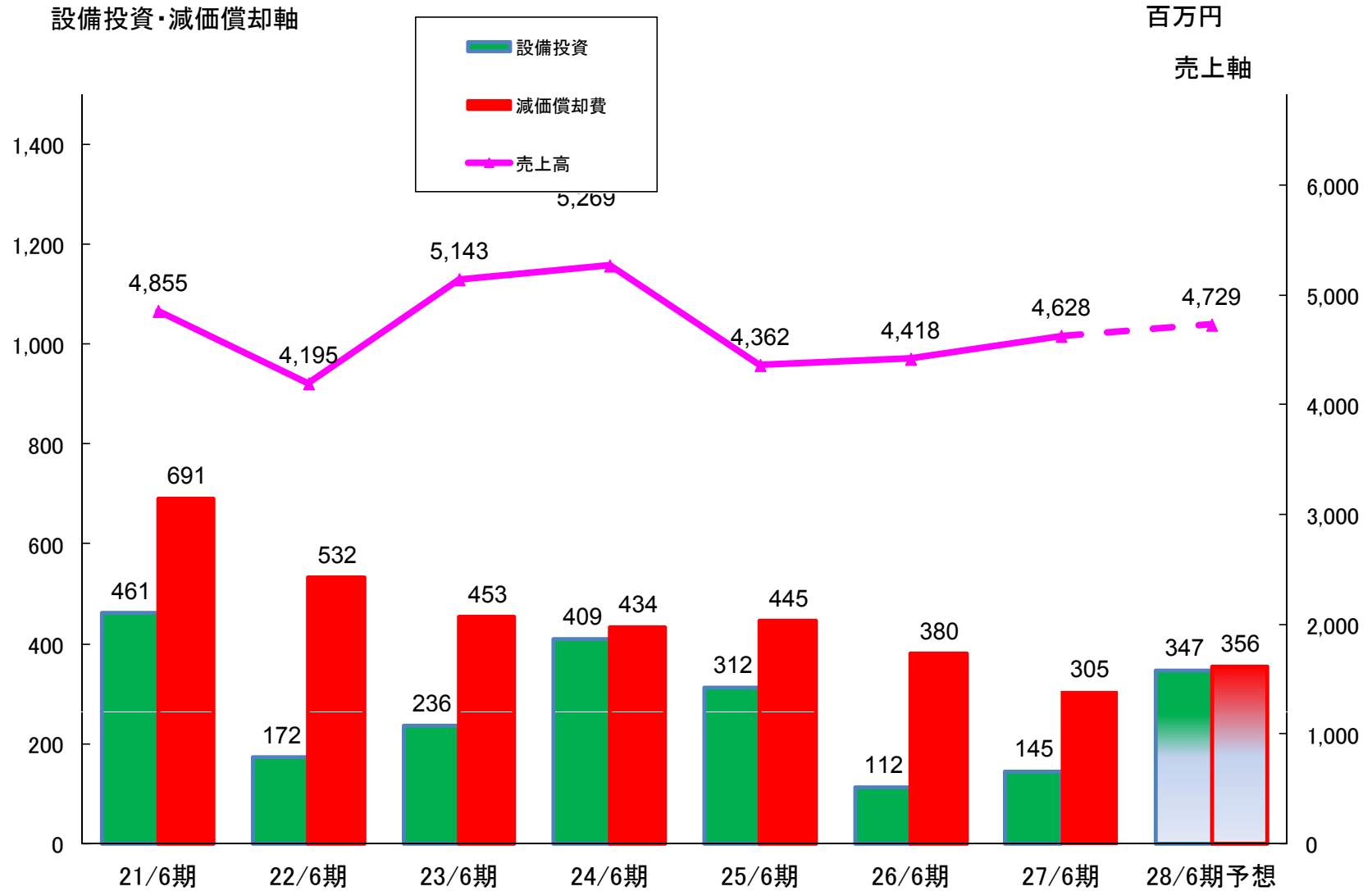
(単位:百万円)



売上高・営業利益率推移 (株)オーネックス単体



(株)オーネックス 売上高・設備投資・減価償却推移



今後の展望

熱処理事業を取り巻く環境

<マイナス要因>

- ・ 中国をはじめとするアジア諸国の景気減速と原油価格低下によるエネルギー関連投資の落ち込み懸念
- ・ 国内熱処理需要の競争激化
 - 顧客の生産拠点の分散化⇒関東圏から中部圏へのシフト

<プラス要因>

- ・ 自動車・同部品業界の再編成
 - アイシンAWのトランスミッション増産計画(現状7百万台⇒2020年1千万台)
- ・ エネルギーコストの低下
 - ガス価格が低下
 - 電力費の低下⇒再生可能エネルギー発電促進賦課金の減免措置
- ・ メーカーの生産拠点⇒一部は国内回帰
- ・ 大型歯車、建設機械の国内需要増加
 - 東京オリンピックに向けてインフラ整備
 - シェールガス輸入に伴うLNG船建造
 - リニア新幹線のトンネル工事
 - 風力発電設備の大型化と補給部品需要

オーネックスグループの経営戦略

<海外展開>

平成15年以降、顧客数社から中国進出の要請。現地調査を含め検討を実施

→政治的なリスクが高く進出を見送り

<熱処理市場の構造変化>

ONEXの基幹工場がある関東地方の熱処理市場基盤が沈下、中部地区の市場が伸張

<日本経済の回復期待>

アベノミクスにより円安進行、輸出増加、メーカーの製造拠点の海外移転の動きが変化



潮目が変わったと判断し、2013年夏から近畿・中部地区に拠点設置の検討を開始

[選択と集中]

- ・生産管理システムソフトを製造販売していた(株)オーネックスエンジニアリングは成長が期待できないと判断し、2012年に清算。
- ・基幹工場である厚木工場と東松山工場間に高速道路が開通し、時間的距離が2時間半から1時間弱に短縮したため、工場長を始めとした管理職の兼務体制を敷き一体化運営をスタートさせ、人員合理化を実施。
- ・人・物・金を新会社に投入し成長を目指す。

ONEXの事業展開

<設備増設>

設備投資による増収と設備更新投資による生産性の向上

- ・ 東松山工場 バッチ型浸炭炉増設
- ・ 長野工場 高周波装置新設
- ・ 厚木工場 バッチ型真空浸炭炉更新

<新産業分野の開拓>

- ・ JIS Q9100 9月取得予定
- ・ Nadcap認証取得⇒航空機分野

<効率化>

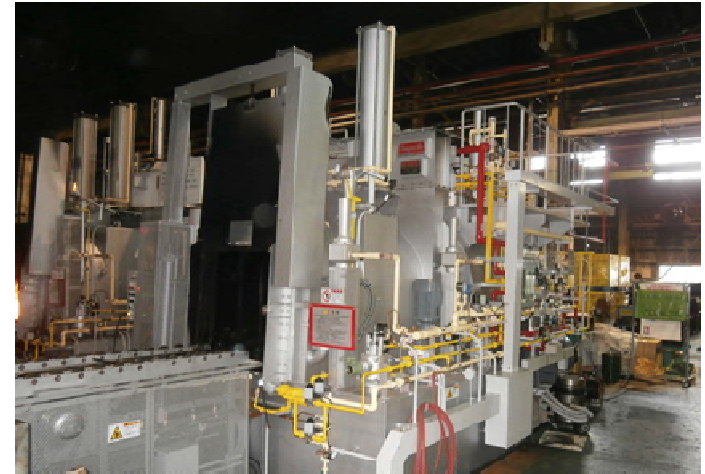
- ・ 厚木工場と東松山工場の一体化運営による生産性向上、人員合理化推進

設備増設

東松山工場

◎ガス焼きバッチ式浸炭炉(スーパー炉タイプ)
の増設

顧客の増産計画による熱処理受注増加に
対応するための増産投資



7月に設置完了したバッチ式浸炭炉

長野工場

◎高周波焼き入れ機の新設

顧客の増産計画による熱処理受注増加に
対応するための増産投資



7月に設置完了した高周波焼き入れ機

設備増設

厚木工場

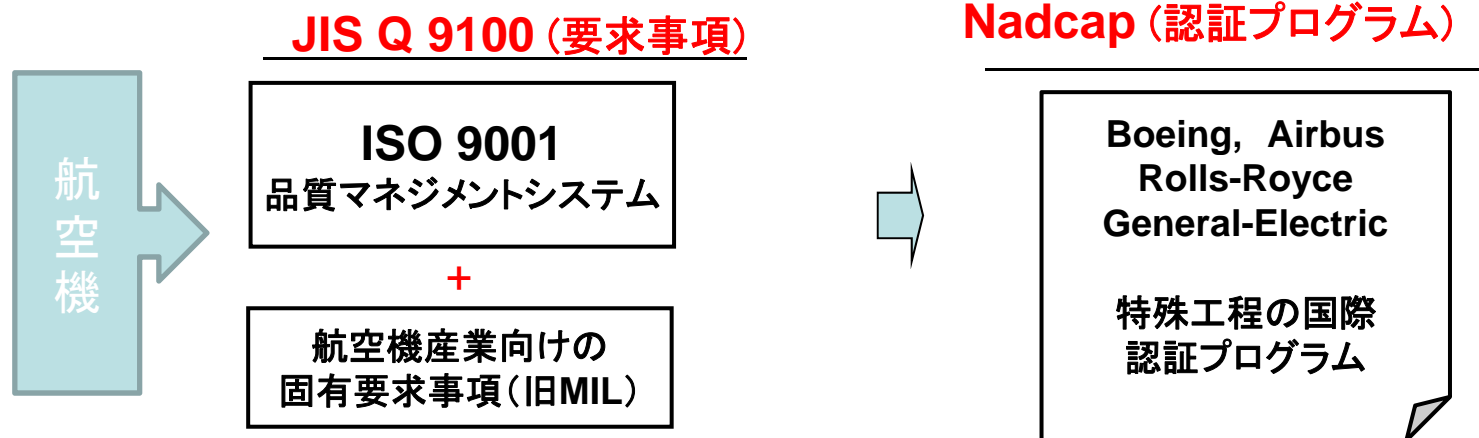
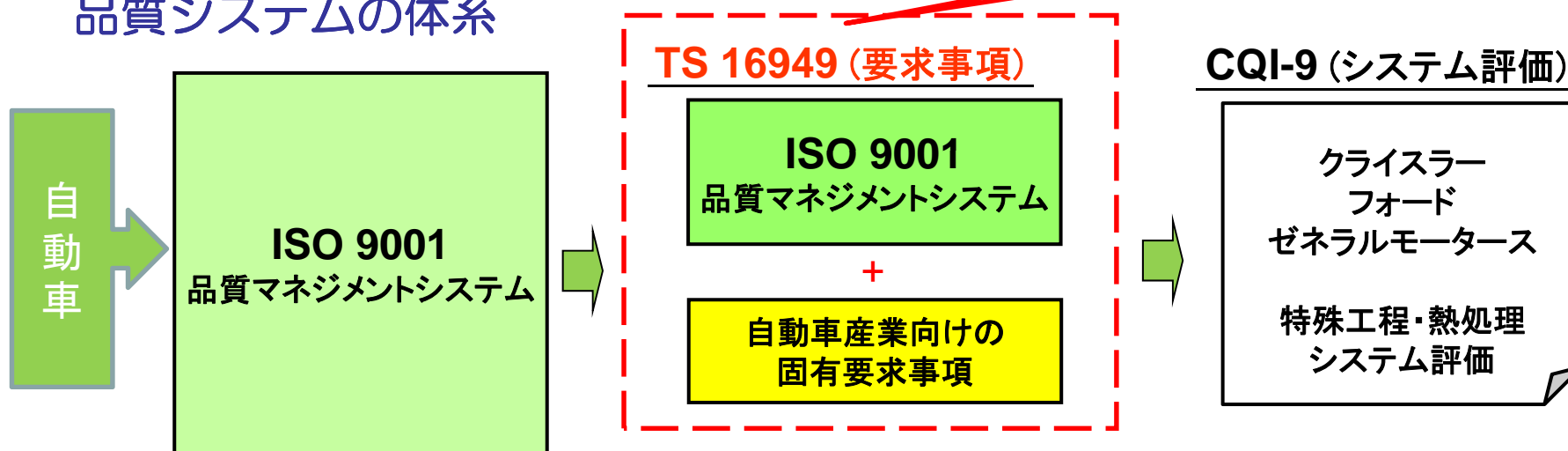
◎バッチ型真空浸炭炉更新

生産性向上のための更新投資



(株)IHI機械システム社HPより転写

品質システムの体系



風力発電

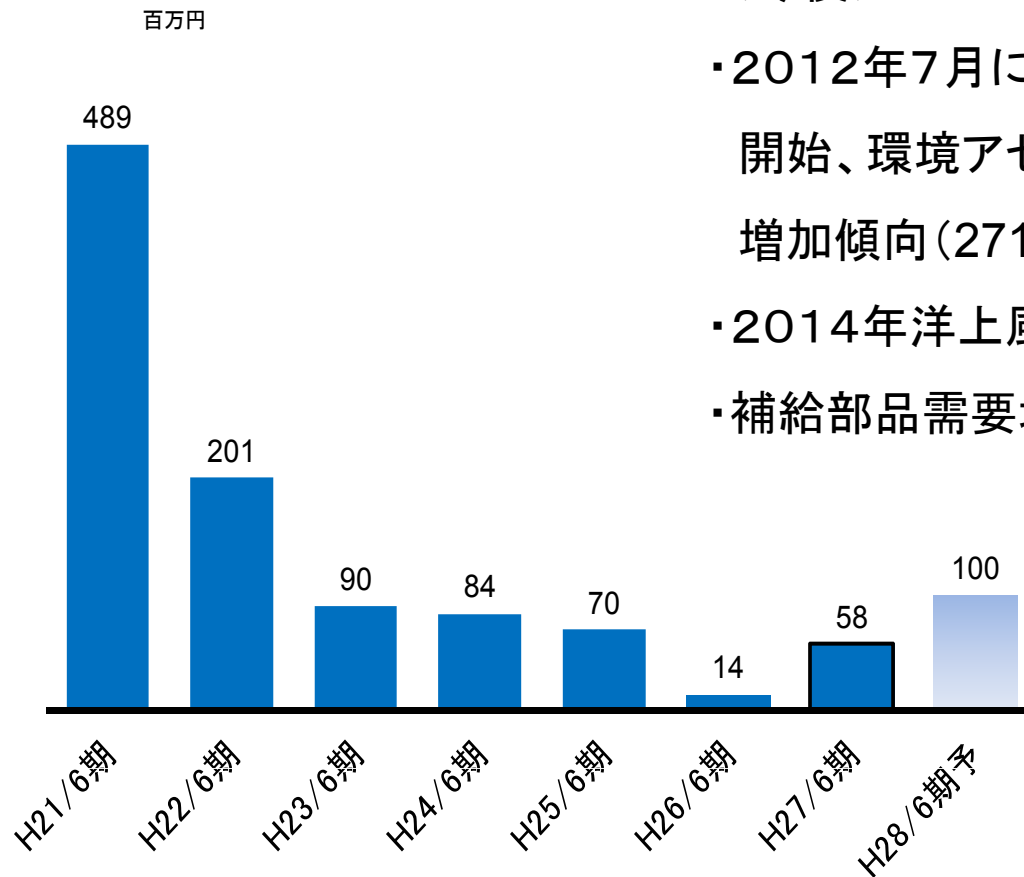
風力売上推移

<現状>

- ・2012年から環境アセスメントの対象となり導入量が減少

<今後>

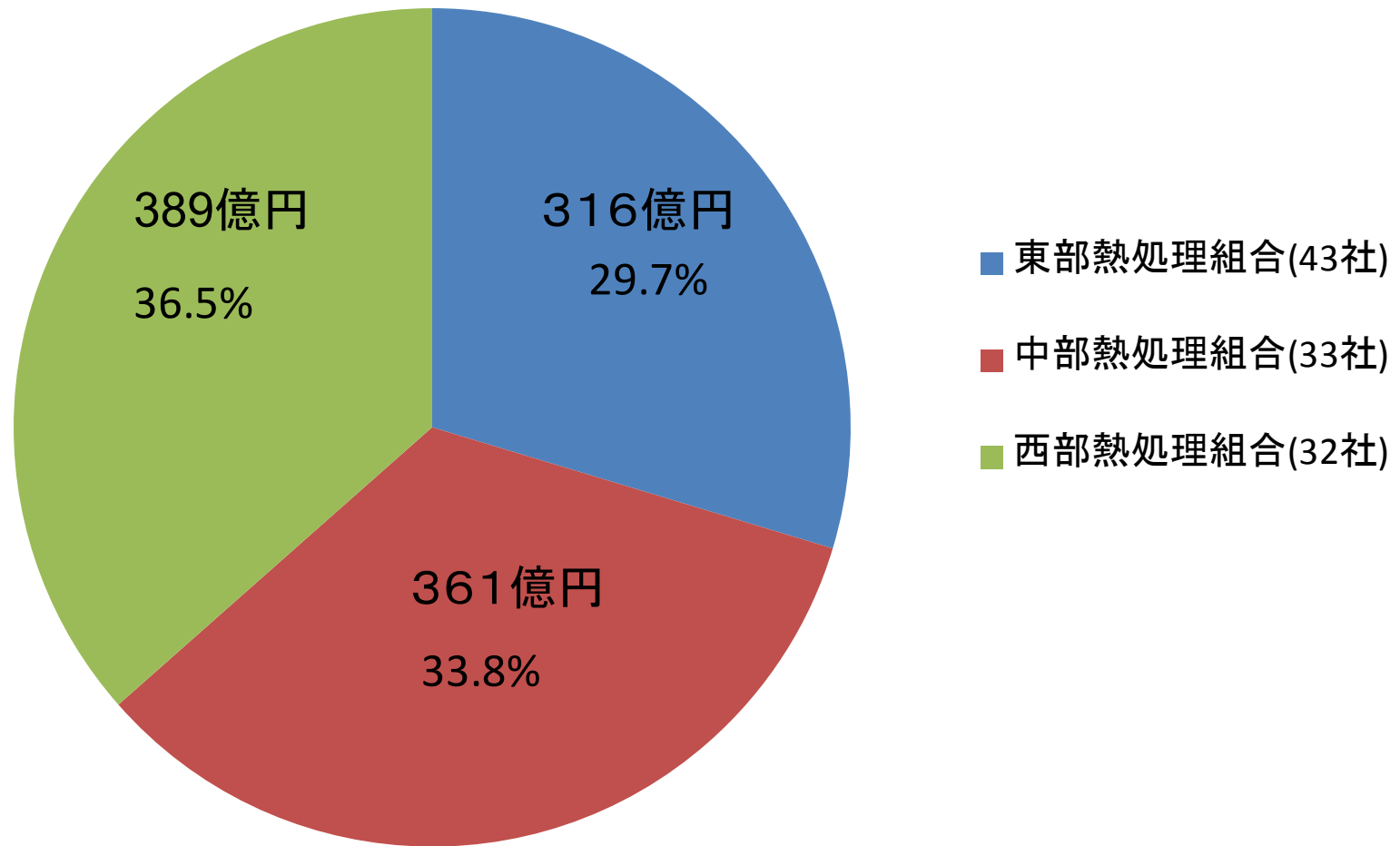
- ・2012年7月に固定買取価格制度が開始、環境アセスメント申請案件は増加傾向(271万KW⇒500万KW超)
- ・2014年洋上風力の買取制度が追加
- ・補給部品需要増加



株式会社オーネックステックセンター
(略称: OTC)

日本熱処理工業会地域別売上高シェア

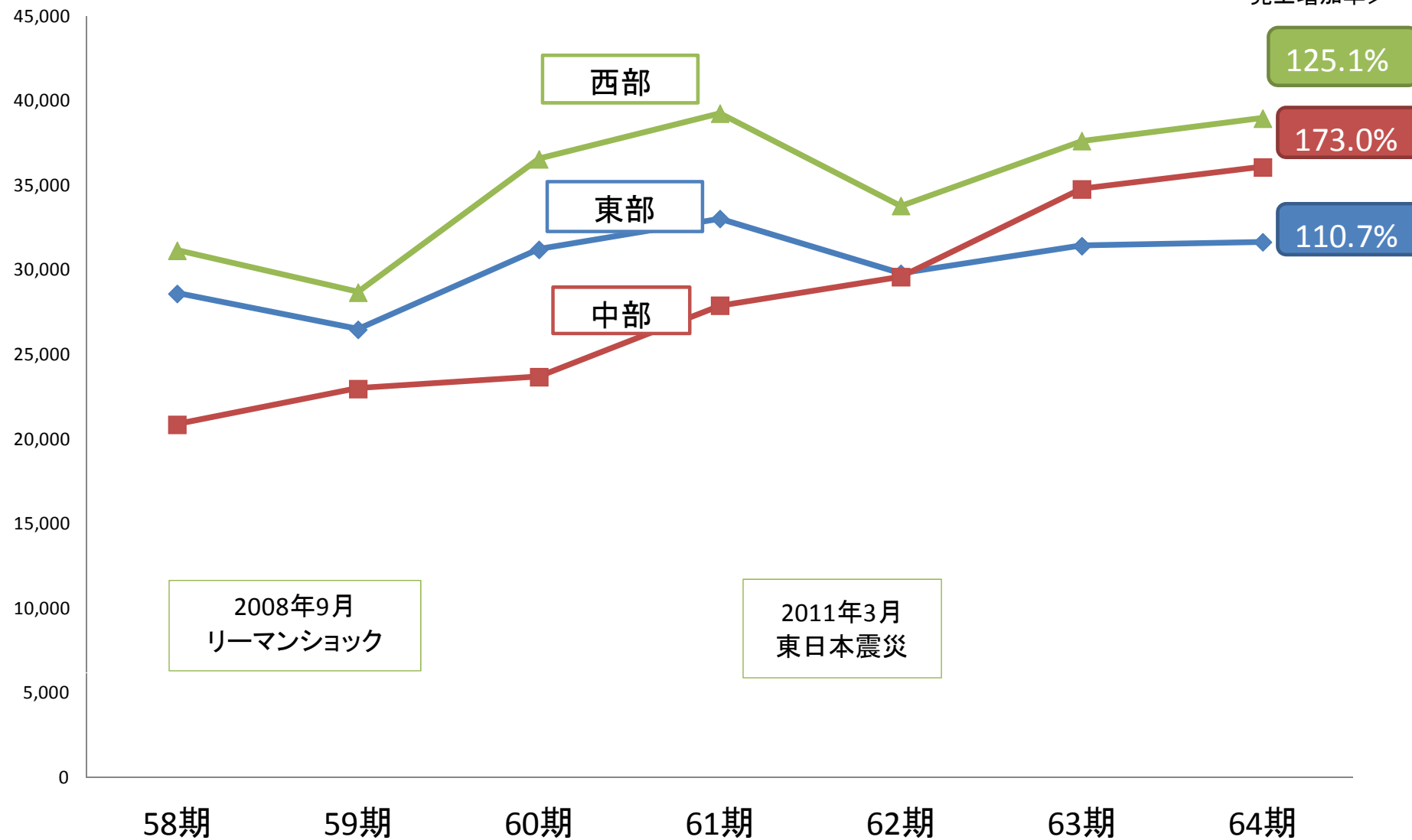
平成26年7月～平成27年6月



熱処理工業会地域別売上推移

工業会:百万円

<64期/58期
売上増加率>



株式会社オーネックステックセンター

◆ 設立目的

1. 近畿・東海・北陸エリアの新規顧客の開拓
2. 既存顧客の納期短縮・運送コスト削減
3. BCP対策
4. 日本の産業基盤が集積する3大都市圏をフルカバーする事業基盤の確立

◆ 資本金

95百万円(ONEX100%出資)

◆ 工場概要

土地面積:21,761m²(約6千6百坪)

建 物:工場倉庫3,100m² 事務所棟900m²

◆ 総投資額

約18億5千万円

◆ 操業時設備

バッチ炉(フレームレスタイプ) 4基 全自動制御機能

ピット炉 2基 大物製品対応

◆ 売上見込

操業初年度(稼働期間6カ月) 1億8百万円

◆ 従来事業との相違点

1. 新会社の設立

地域のニーズにきめ細かく対応する

2. 自動化による省力化

バッチ炉ラインを自動化

3. 勤務体系

24時間操業

ONEX 3交替 テックセンター 2交代

(テックセンター導入後、ONEXにも導入し人員削減を図る)

4. 市場環境

- ・ 東海地区の需要増加で地元熱処理会社の手が回らず、熱処理需要は好調
- ・ 近畿東海地区の熱処理をONEXからOTCに移管し、運送費削減、納期短縮

株式会社オーネックステックセンター 亀山・関テクノヒルズ工業団地内

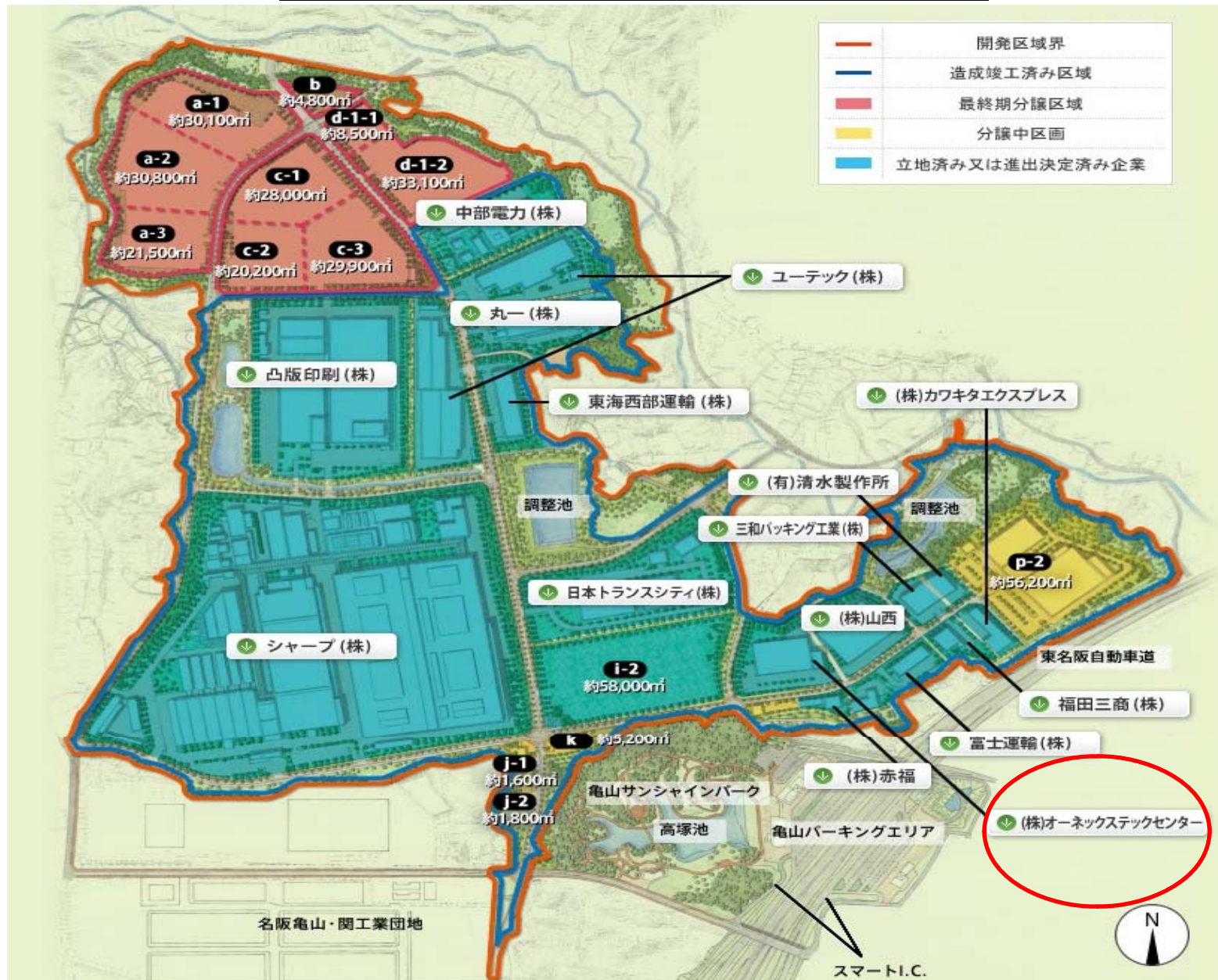
名阪亀山・関
工業団地

(株)豊田自動織機

亀山試験施設造成予定
66ヘクタール(20万坪)

OTC亀山工場
東名阪スマートI. Cまで5分

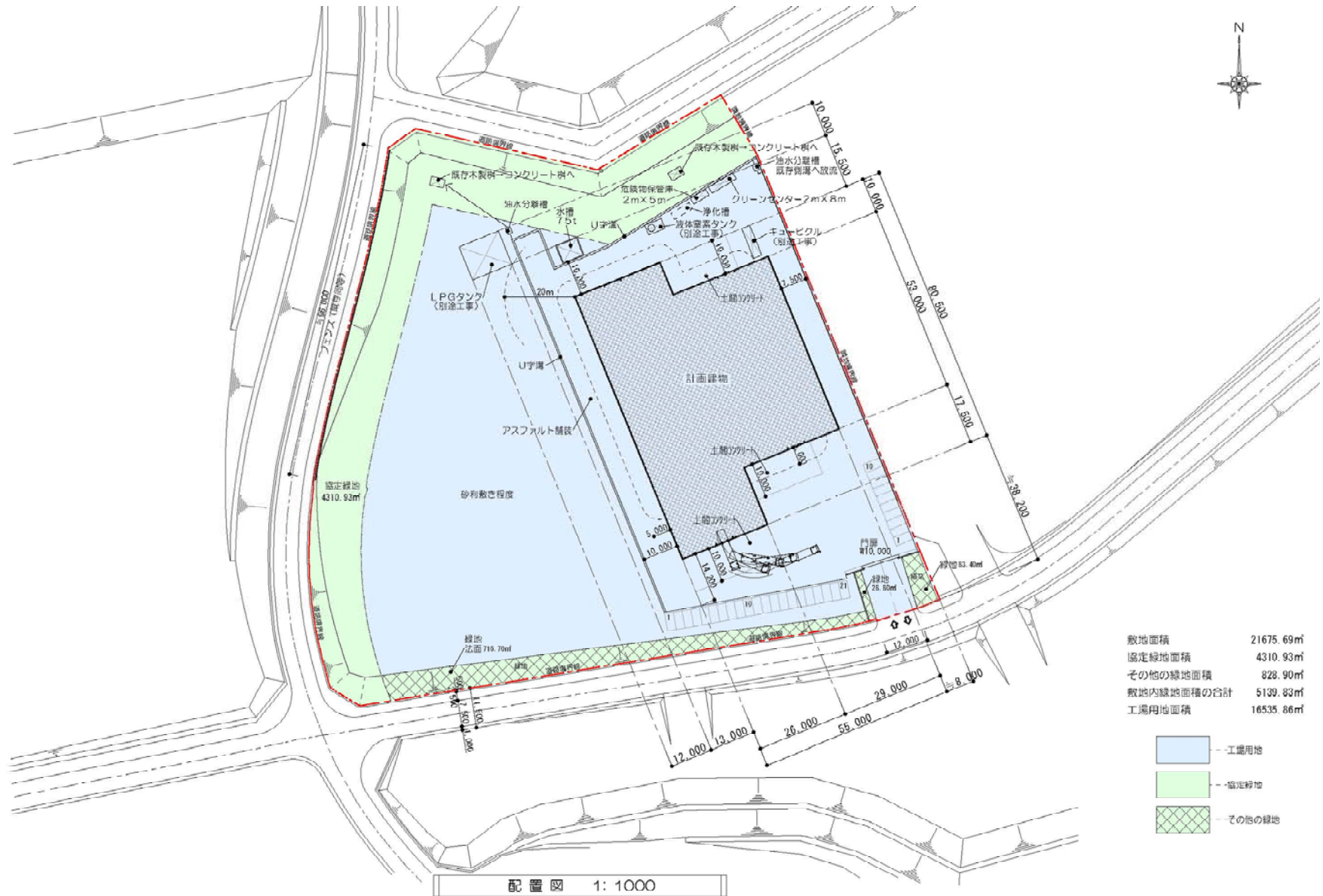
亀山・関テクノヒルズ区画



交通アクセス



工場配置図



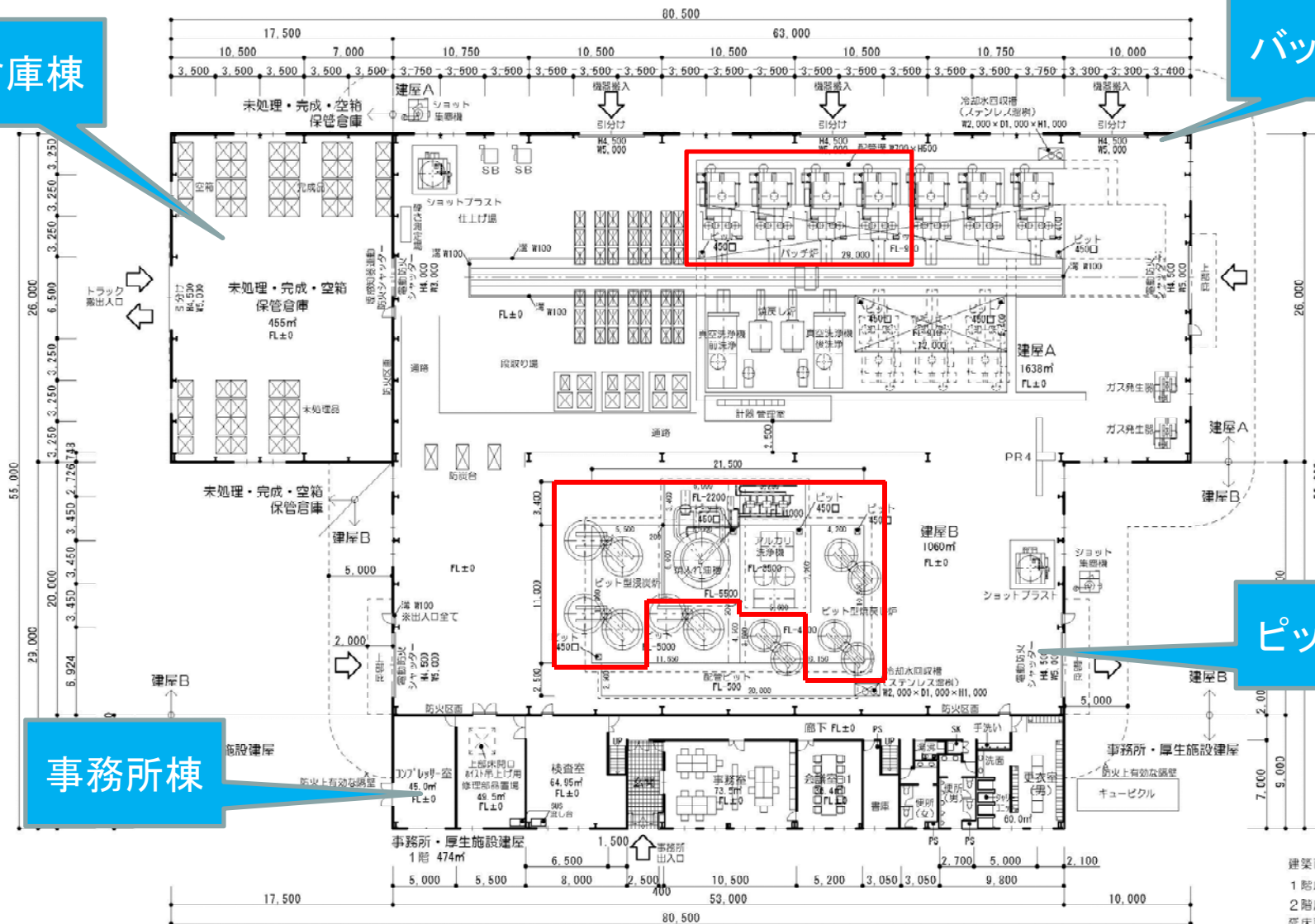
工場平面図



= 初期投資設備

倉庫棟

バッチ棟



事務所棟

ピット棟

1階平面図 1:300

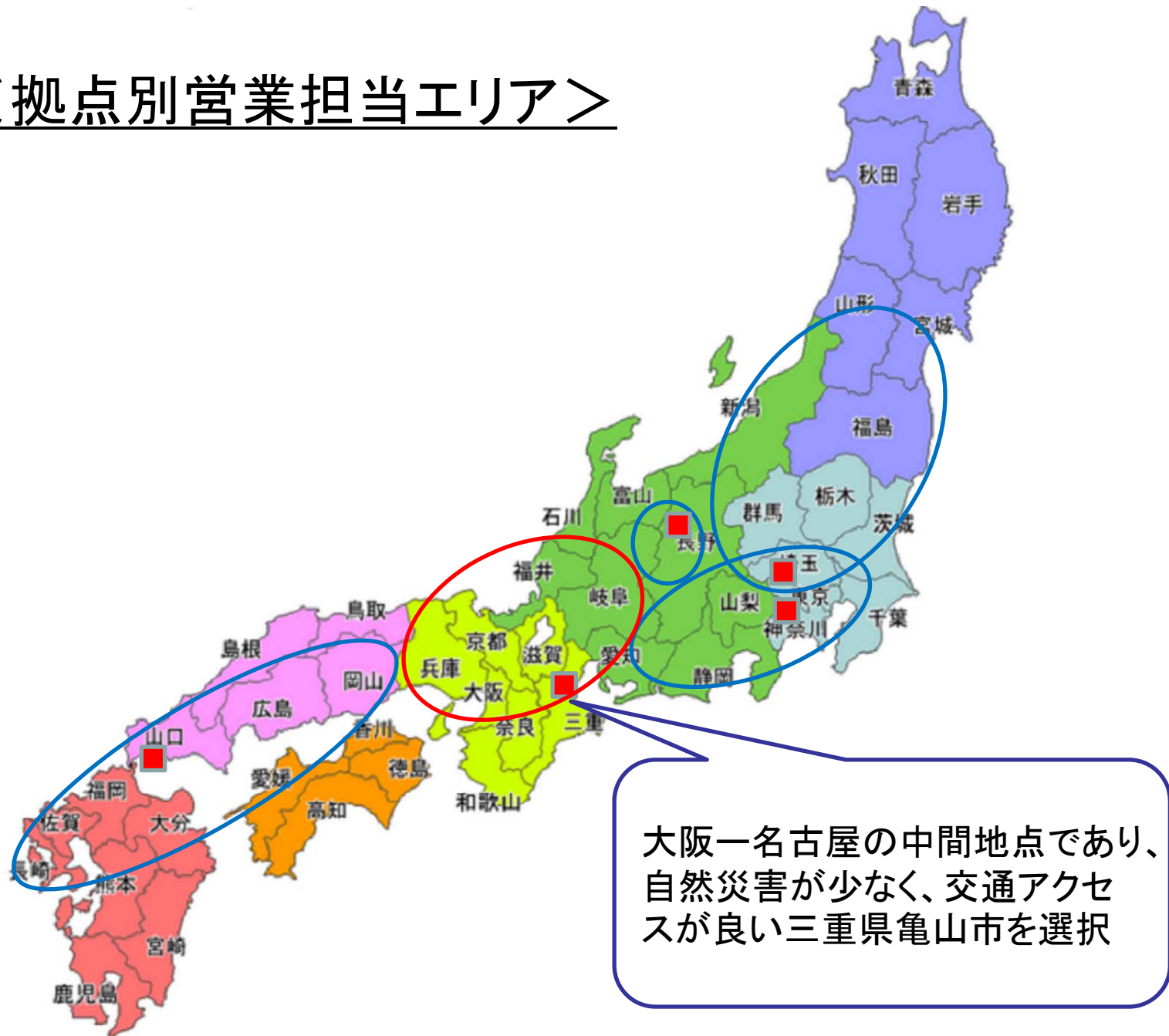
8月18日現在工事状況(10月末完成予定)



工場完成予想図



<拠点別営業担当エリア>



ご注意

本資料の業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

夢に向かってチャレンジを続けるオーネックスを
引続きよろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 オーネックス